

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和6年4月30日(2024.4.30)

【公開番号】特開2022-179009(P2022-179009A)
 【公開日】令和4年12月2日(2022.12.2)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-222
 【出願番号】特願2021-86210(P2021-86210)
 【国際特許分類】
 A 6 1 B 3/028(2006.01)
 【F I】
 A 6 1 B 3/028

10

【手続補正書】
 【提出日】令和6年4月19日(2024.4.19)
 【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
 【請求項1】

被検眼に向けて視標光束を投光する投光光学系と、
 前記視標光束の光学特性を変化させる矯正光学系と、
 前記投光光学系の光路中に固定配置される固定光学部材であって、前記被検眼に前記視標光束の像を光学的に所定の検査距離で呈示するための固定光学部材と、
 を有し、
 前記被検眼の光学特性を自覚的に測定するための自覚式検眼装置であって、
 前記投光光学系を少なくとも含む測定ユニットを、前記固定光学部材に対して移動させることによって、前記被検眼に前記投光光学系の光軸を位置合わせするための第1移動手段と、
 前記測定ユニット及び前記固定光学部材を、前記測定ユニットと前記固定光学部材との位置関係を維持した状態で、前記被検眼に対して移動させることによって、前記被検眼に前記視標光束の像を所定の光学倍率で投影するように位置合わせするための第2移動手段と、
 前記被検眼と前記測定ユニットとの位置合わせにおいて、前記第1移動手段及び前記第2移動手段を制御する移動制御手段と、
 を備えることを特徴とする自覚式検眼装置。

30

【請求項2】

請求項1の自覚式検眼装置において、
 前記移動制御手段は、前記第2移動手段の制御による位置合わせを実行した後に、前記第1移動手段の制御による位置合わせを実行することを特徴とする自覚式検眼装置。

40

【請求項3】

請求項1または2の自覚式検眼装置において、
 前記移動制御手段は、前記第2移動手段を制御して、前記被検眼に対する前記測定ユニットの粗アライメントを実行するとともに、前記第1移動手段を制御して、前記被検眼に対する前記測定ユニットの微アライメントを実行することによって、前記被検眼と前記測定ユニットとのアライメントを調整することを特徴とする自覚式検眼装置。

【請求項4】

請求項1～3のいずれかの自覚式検眼装置において、

50

前記移動制御手段は、前記第2移動手段を制御し、前記被検眼に対して前記測定ユニット及び前記固定光学部材を少なくとも前後方向に移動させるとともに、前記第1移動手段を制御し、前記固定光学部材に対して前記測定ユニットを少なくとも左右方向及び上下方向に移動させることを特徴とする自覚式検眼装置。

【請求項5】

請求項1～4のいずれかの自覚式検眼装置において、

前記測定ユニットは、左右一対の左眼用測定ユニットと右眼用測定ユニットを有し、

前記固定光学部材は、前記左眼用測定ユニットからの視標光束の光路と、前記右眼用測定ユニットからの視標光束の光路と、において共用され、

前記第2移動手段は、前記左眼用測定ユニット及び前記右眼用測定ユニットと、前記固定光学部材と、を一体的に移動させることを特徴とする自覚式検眼装置。

10

20

30

40

50